



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 402

Januar

2025

特定非営利活動法人 神戸日独協会
〒651-0085 神戸市中央区八幡通2-1-20
神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F
TEL/FAX 078-230-8150
E-mail: info@jdg-kobe.org
URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE
Bei Kobe Regatta & Athletic Club
In Isogami-Park Hachiman-Dori 2-1-20
Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

新年ご挨拶

NPO法人神戸日独協会会長 栢田 義一

2025年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は神戸日独協会の活動に対しまして、格段のご協力、ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。新しい年が協会と会員の皆様にとって素晴らしい年になることを心より祈念しております。

各種メディアが報じましたように、本年1月17日に阪神淡路大震災から30周年を迎えました。往時のことを知る会員も現在では少なくなりましたので、先ずは一言述べさせていただきます。この大震災は神戸日独協会にとってはこれまでにない最も大きな災難であり試練でした。事務所が入居していた神戸国際会館が全壊し退去に追い込まれました。北野町最北端のマンション、神戸駅前の倉庫ビル、東遊園地西南側のマンションへと事務所を移転して、協会業務・ドイツ語講座を会員皆様のご協力を得て継続することができました。4年後の新神戸国際会館落成とともに再び入居して一昨年7月まで事務所を構えていました。この大地震に際しては多くの日独協会並びにドイツの独日協会よりお見舞とお見舞金をいただきました。ドイツから来神され直接お見舞金をいただいた協会もありました。改めて震災時にいただいたご支援に厚く心より御礼を申し上げます。見舞金は被災した会員への支援及び協会運営に使用させていただきました。震災時のことは「神戸日独協会60年誌」に詳細な報告がありますので、そちらをご参照ください。この体験からこの度のコロナ禍をも協会としてなんとか乗り越えることができました。

昨年は日本のみならず世界的に政治・経済・社会上の混迷の年でした。本年はこの混迷をいかに解決・打解して展望を持つかが問われるでしょう。グローバル主義から保護主義へ、ポピュリズムの台頭、人工頭脳による産業・社会生活の変革、このような国際的な大きな流れをより正しく理解するためにも、民間の国際交流団体としての草の根的な活動を地道に積み重ねていくことの意義を再確認しています。

協会の運営についても原点を大切に、将来を見据えて一歩一歩積み重ねて努力していきます。皆さまのご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

Grüße zum Neuen Jahr

Zu Beginn des Jahres 2025 möchte ich Ihnen hiermit meine besten Grüße übermitteln. Wie jedes Jahr gilt mein besonderer Dank Ihrer Mitarbeit und Unterstützung bei den Aktivitäten der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Kobe, und ich wünsche mir von Herzen, dass der Gesellschaft und all ihren Mitgliedern ein großartiges Jahr zuteilwerde.

In den verschiedensten Medien wurde vom Jahrestag des großen Hanshin-Awaji-Erdbebens berichtet. 30 Jahre sind seitdem vergangen, und es sind nur mehr wenige, die von der Situation wissen, in der sich unsere Gesellschaft damals befand. So möchte ich hier zunächst ein paar Worte dazu schreiben.

Auch für die Gesellschaft war das Beben natürlich die größte Katastrophe in der Nachkriegsgeschichte und nur sehr schwer zu bewältigen. Das Internationale Haus Kobe, in dem sich das Büro der Gesellschaft befand, war zur Gänze zerstört. Einen ersten Unterschlupf fand man in einem Wohnhaus ganz oben im Stadtteil Kitano-cho. Es folgten ein Umzug in ein Lagerhaus beim Bahnhof Kobe und in ein Wohnhaus im Südwesten des Parks Higashi Yuenchi. Dort konnten unter großer Mitarbeit der Mitglieder die allgemeine Vereinsarbeit sowie auch die Deutschkurse wieder aufgenommen werden. Vier Jahre danach war das neue Internationale Haus fertiggestellt. Die Gesellschaft konnte dorthin zurückziehen und blieb dort bis zum Juli 2023.

Nach dem Erdbeben erhielten wir von den Japanisch-Deutschen Gesellschaften in Japan sowie auch von den Deutsch-Japanischen Gesellschaften in Deutschland große Anteilnahme und finanzielle Unterstützung. Einige VertreterInnen von Gesellschaften aus Deutschland kamen hierzu sogar nach Kobe. Allen gilt auch heute noch unser größter Dank. Die erhaltenen Gelder wurden zur Unterstützung von durch das Erdbeben schwer betroffenen Mitgliedern und zur Weiterführung der in der Gesellschaft nötigen Verwaltungsarbeit verwendet. Einen ausführlicheren Bericht über das Erdbeben und die Folgen für die Gesellschaft finden Sie in der Jubiläumsschrift „60 Jahre Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe“. Die Erfahrungen und der Zusammenhalt aus dieser Zeit haben uns auch in der Folge geholfen, verschiedene Schwierigkeiten zu meistern, und so ist es uns als Gesellschaft auch gelungen, die jüngste Corona-Katastrophe zu überstehen.

Das vergangene Jahr war in Japan und weltweit gekennzeichnet durch politische, soziale und gesellschaftliche Unsicherheiten. In diesem Jahr wird man sich mannigfaltigen Problemen stellen müssen, um neue Perspektiven für die Zukunft zu

erlangen. Angesichts des Umschlagens von Globalisierung in Protektionismus, angesichts des Erstarkens von Populismus und der Veränderungen der Industrie und des gesellschaftlichen Lebens durch künstliche Intelligenz möchten wir erneut und vermehrt auf die Bedeutung von Aktivitäten an der Basis, insbesondere auf die Unabkömmlichkeit persönlicher, privater Beziehungen im internationalen Austausch hinweisen. Diese sind ein Schlüssel zum Verständnis der großen internationalen Trends und stehen auch weiterhin im Mittelpunkt unserer Gesellschaftsarbeit.

Auch was die Verwaltungsarbeit in der Gesellschaft betrifft, wollen wir uns auf unsere Ausgangspunkte besinnen und Schritt für Schritt einer neuen Zukunft entgegenarbeiten.

Mit der Bitte um ungebrochene Zusammenarbeit und Unterstützung auch im Neuen Jahr

Ihr

Yoshikazu Masuda

Präsident der Japanisch-Deutschen Gesellschaft Kobe

行 事 案 内

ドイツ時事講演会 「戦後の日独の歩みと今後の政治課題」

戦後80年たった今、日独ともに少数与党政権という不安定な政権を維持していることから、両国は同じ歩みをたどってきたかのように見えますが、実は日独の戦後の歩みは大きく異なります。最大の違いはEUの設立で見られるように、ドイツが極めて創造的な外交を展開したことに表れています。ドイツ人の「歴史は精神である」との考えが働いたからだと考えます。他方、そのドイツも最近では経済のゼロ成長が続く一方で、特に旧東独地域での左右のポピュリスト政党の伸長が著しく、ドイツの将来に暗い影を投げかけています。今後日独がどこに行こうとしているのか、両国の戦後の歩みを振り返りつつ、問題のよって来る原因を探りたいと思います。

講 師 : 小坂節雄 氏

(神戸日独協会副会長、自由民主党議員団政務調査員、元在ハンブルク総領事)

日 時 : 2025年2月14日(金)18:00~19:30

場 所 : 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部レストラン

定 員 : 30名

申 込 : 2月12日(水)までにメールもしくは電話・FAX

神戸日独協会遠足 「神戸再発見：兵庫津(ひょうごのつ)ミュージアム」

コロナ禍で中断していました遠足を再開します。以前は各地の日独協会との交流を中心に遠出をしていましたが、今回からは近場の施設・名跡を訪問し、神戸の魅力を再発見しようと「神戸再発見」と題した企画にしました。第一弾は兵庫県立「兵庫津ミュージアム」です。兵庫県発祥の地である兵庫津(ひょうごのつ)にある「兵庫津ミュージアム」は令和4年11月オープンの博物館施設「ひょうごはじまり館」と令和3年11月オープンの復元施設「初代県庁館」の二館が一体となった新しい施設です。兵庫津の歴史や兵庫県の成り立ち、県を構成する兵庫五国の魅力を多彩な映像や体験型のコンテンツなど様々な手法を使って発信しています。オープンからあまり日が経っていませんので、ご存じない方もいらっしゃると思いますが、再発見のため奮ってご参加ください。

日時：2025年2月15日(土)12:00～13:30(現地集合、現地解散)

場所：兵庫県立兵庫津ミュージアム

〒652-0844 神戸市中央区中之島2-2-1 078-651-1868

神戸市営地下鉄海岸線「中央市場前」徒歩約5分

URL:<https://hyogo-no-tsu.jp/>

料金：大人300円(70才以上半額)、大学生200円

定員：10名(現地説明員による説明のため定員制限有、先着順)

申込：2月12日(水)までにメールもしくは電話・FAX

行事報告

クリスマス祝賀会に参加して

会員 田代 徹男

私が神戸日独協会に入会してから初めてのクリスマス祝賀会。世間一般的には今頃の時期は忘年会で、つまり「クリスマス祝賀会」が「忘年会」といったところでしょうか？

私は、神戸日独協会に入会してまだ右も左もわからない状況の中でもこの祝賀会の準備には、柘田会長をはじめ会員の皆様方が親切丁寧にご指導いただいたおかげで無事に会場の準備ができました。そして祝賀会が楽しく有意義なひと時でした。

ただ、心残りとしまして、クリスマスプレゼントの件です。実は、私の場合はクリスマスプレゼントは何も用意しませんでした。この場をお借りしてお詫びとお礼を申し上げたいと思います。今振り返ってみますと、クリスマスプレゼントを用意すべきだったと思うと同時に、厚かましく受け取ってしまったことを恥ずかしく反省する次第です。

クリスマス祝賀会に関しましては、柘田会長による司会進行で、会場の雰囲気は和やかで、時には盛り上がりたりして良かったと思います。

内容的には、Trummer氏による「近くて遠い存在～ベートーヴェンの交響曲第9番～」と題しての講演、プレゼントの抽選会、ドイツ歌声サロン有志の方々の合唱や尾辺さん、沼田さんによる今年一年の活動報告のスライドの披露などなどいろいろと変化に富んでいて、会場に来られた皆様

に楽しまれたことと思います。

最後に、本年も会員同士の親睦交流を深めつつ、神戸日独協会の活動を大いに盛り上げましょう！！そして楽しみましょう！！

ドイツ語特別講座

「新標準語」のリスニングと発音 —ドイツ語とアメリカ英語の比較— に参加して

会員 吉川 充子

12月21日の午前と午後の2時間、合計4時間のシュテファン・トゥルンマー・フカダ先生のセミナーに参加しました。まず日本の外国語教育の実情について聞きました。それからトム・クルーズの「オブリビオン」という映画の一部を日本語で見ました。内容を理解した後、英語とドイツ語で何度も繰り返して見ました。先生の講義はプリントを出されず、皆に集中して聞いてもらう進め方なので、皆一生懸命でした。私にとって、目新しいことの連続でドイツ語の勉強を続けていくうえでとても有意義な講座でした。印象に残ったことを三つ紹介します。

① 外国語を学ぶ上の有効な進め方

先生は約20年前に、「英語が使える日本人」の育成行動の計画を立てられたが、その話は実らなかった。外国語を学ぶ時に重要なことは、「その人の知っているすべての言語を生かして学ぶこと」である。ヨーロッパでは、19C頃、ラテン語、ギリシャ語、イタリア語、英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語等複数言語を話す人達は珍しくはなかった。一つの外国語のみを学ぶより、二つ以上の外国語を比較しながら同時に学ぶのは、とても有効である。杉谷先生の講義でEUの外国語の教育方針を取り上げられたことがあったが、それを思い出しながら聞いた。現在、日本では「まずは英語」で第二外国語は軽視される傾向にある。英語のみを学び、他を捨ててもうまくいかず、結論として「英語のできない日本人」を作ってしまう。日本人は、外国語がなかなか身につかないと言われる。しかし、明治時代に外国に派遣された森鷗外等我々の先輩日本人達は、短い期間で驚くほどの成果を見せた。日本人が決して外国語に弱いわけではない。今の時代、ドラマや映画を楽しみながら通して何度も見れば、外国語は必ず学べる。外国語を学ぶときに重要なこと:「外国語は捨てるもの。作るな」

つまり外国語は映画・ドラマ等から拾って学ぶべきで、自分勝手に作るなということですね。

② ルール3の法則「音声の脱落」

音声変化のルール:子音が3つ並ぶ時、単語や文章中で真中の子音の発音が脱落する。

- (1) Christmas (2) I just bought a car (1) stmの真ん中のt、(2) stbの真ん中の t が脱落、
(3) 14. März Zweitausend sieben und siebzig ndsの真ん中の d の発音が脱落

英語の発音ルール3を調べたところ、破裂音[t] [d]の後に子音が続く場合、破裂音の[t] [d]はほとんど発音されないらしい。英語やドイツ語の共通発音ルールを学ぶことが、ネイティブの発音を理解し、自らの話す外国語を理解してもらうことに繋がると思います。

③ ドイツ語の変化 (人称代名詞、つまり主語のないドイツ語)

最近、主語のないドイツ語が使われることがある。日本語と異なり、英語・ドイツ語等多くのヨーロッパ語は、必ず主語と動詞が必要と昔勉強した者にとっては、驚きです。これもSNSの発達等の

時代の流れで、将来ドイツ語はもっと簡素化されるかもしれないと思います。

Jetzt geht's nicht! **Bin** müde. **Komme** morgen. (Bin と Komme の前の Ich を省略)

年末のお忙しい時期にドイツ語特別講座のためにご協力いただいた、シュテファン・トゥルンマー・フカダ先生、そしてこのような機会を設けてくださった神戸日独協会の皆様に感謝します。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。今月は休載です。

投稿規定：1000字程度(字数を厳守)

MSPゴシック12ポイントのWordデータを第4月曜日までにメールでお送りください。

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

2月は1月に続き、Schneewaltzer(雪のワルツ)、Das gibt's nur einmal(ただ一度だけ)、An die Freude(歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講師：岩島 佳子さん

日時：2025年2月1日(土) 13:30~15:00

場所：神戸リガッタ倶楽部

参加費：2000円

参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方もぜひご参加ください。

申込先

メール

info@jdg-kobe.org

TEL

078-230-8150(月~金14~17:00)

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。ご自身のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん
日時：2月23日(日)14:00～16:00
場所：神戸日独協会
会費：1000円(材料費)
参加条件：会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込先	メール	info@jdg-kobe.org	TEL	078-230-8150(月～金14～17:00)
-----	-----	--	-----	---------------------------

第242回 ドイツ語談話室

日時：2024年12月21日(土) 14:00～16:00

場所：神戸日独協会

テーマ：アメリカと日本における選挙

今回の司会は川見正之氏が担当し、日本の総選挙で自民・公明の与党連合は、自民党の裏金問題が祟って過半数を取れず少数与党となった事を話した。一方アメリカでは、多くの日本人の予測に反してトランプ氏が次期大統領に選ばれた。もしトラと懸念されていたものが、またトラとなった。これで再びトランプ氏が、偉大なアメリカを再現しようとして、世界中を掻き乱すことを憂う。

以下に参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

- 日本の選挙は、まず国会議員が国民から選ばれ、選ばれた議員が首相を選ぶ間接制度だ。アメリカでは国民が各選挙区で大統領の候補者を選びその区選挙人の数が決まり、全選挙区選挙人の数の多いものが大統領に選ばれる。少し複雑なシステムだが直接制度だ。
- 日本での選挙権は長年20歳からであったが、近年やっと18歳となった。しかし若い人の投票率が他国に比べてとても低いのが問題である。
- 国民民主党の玉置氏はスキャンダルを起こしておきながら、依然党首をしている。どうして彼が党首を続けられるのか不思議だ。
- ドイツでの連合政権はあまりにもひどかった。アンペル連合はお互いの協調ができなくなって解散してしまい、来年早々に総選挙となる。
- 失職した元兵庫県知事の斎藤氏が予想に反して再選されたが、SNSでの他候補に対する中傷がこの結果に影響したと言われる。公正な選挙ができなくなる懸念が出てきた。
- アメリカやヨーロッパ各国では、移民問題や難民問題が選挙に大きな影響をもたらしている。日本ではまだこうした移民・難民問題が起きる状況にはないようだ。
- アメリカではトランプ氏が勝利したが、どうしてアメリカの有権者は、世界から最も大統領にふさわしくないとされる人物を選んだのか、不思議だ。

最後に皆さんでクリスマスの歌を合唱して、新年に向けての希望を祈念した。

今後のドイツ語談話室の予定

第244回 2025年2月15日(土) 14:00～16:00 テーマ：早春2月の風習

Protokoll der 242. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 21. Dezember 2024, 14 bis 16 Uhr.

Thema: Wahlen in Japan und den USA

Dieses Mal hatte Herr Masayuki Kawami die Gesprächsleitung und führte in das Thema ein. Bei den Parlamentswahlen in Japan konnte die Regierungskoalition aus Liberaldemokratischer Partei und Komeito aufgrund des Skandals um die Schwarzgeldkassen der Liberaldemokratischen Partei keine Mehrheit gewinnen, was die Bildung einer Minderheitsregierung zur Folge hatte. In den Vereinigten Staaten wurde unterdessen entgegen vieler Vorhersagen Donald Trump zum Präsidenten gewählt. Auch in Japan haben viele die Befürchtung, dass daraus chaotische Umstände entstehen könnten. Auch der Gesprächsleiter ist in Sorge, dass Trump mit seinen Versuchen, „Amerika wieder groß zu machen“, weltweit Verwirrung und Unheil anstiften könnte.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

- Bei den Parlamentswahlen in Japan werden die Parlamentsmitglieder zunächst vom Volk gewählt, und die gewählten Mitglieder wählen dann den Premierminister. Es ist eine indirekte Wahl. In den USA wählt das Volk in jedem Wahlbezirk einen Kandidaten für das Präsidentenamt. Wer die meisten Bezirke für sich gewinnen kann, gewinnt die Wahl. Es ist ein kompliziertes System, aber doch eine Form von direkter Wahl.
- In Japan erlangte man traditionellerweise mit 20 Jahren die Wahlberechtigung, das Wahlalter wurde jedoch vor wenigen Jahren herabgesetzt und nun darf man schon mit 18 wählen. Die Wahlbeteiligung junger Menschen in Japan blieb jedoch im Vergleich mit anderen Ländern besonders niedrig.
- Der Vorsitzende der Demokratischen Volkspartei, Tamaki, war in Skandale verwickelt und ist trotzdem in seiner Position verblieben. Eine Teilnehmerin fragt sich, ob solche Dinge berechtigt sind.
- Die Koalitionsregierung in Deutschland ist schiefgelaufen. Die Ampel Koalition war nicht in der Lage, zu kooperieren und löste sich auf. Im Februar wird ein neuer Bundestag gewählt.
- Der Gouverneur der Präfektur Hyogo, Saito, wurde seines Amtes enthoben, aber wiedergewählt. Es heißt, dass das Wahlergebnis von den sozialen Medien beeinflusst wurde. Die anderen Kandidaten sahen sich in den sozialen Medien zahlreichen Verleumdungen ausgesetzt. Es besteht die Gefahr, dass auf diese Art keine fairen Wahlen mehr durchgeführt werden können.
- Einwanderungs- und Flüchtlingsthemen haben einen großen Einfluss auf Wahlen in den USA und in vielen Ländern Europas. Japan zeigt sich noch nicht mit einer

derartigen Situation konfrontiert.

- Trump hat die Wahlen in den USA gewonnen. Ein Teilnehmer fragt sich, warum die amerikanischen Wählerinnen und Wähler gerade die Person zum Präsidenten machten, die wahrscheinlich den meisten Menschen in der übrigen Welt als der weniger geeignete Kandidat erschien.

Am Ende wurden zusammen Weihnachtslieder gesungen und Grüße für das neue Jahr ausgetauscht

Nächste Treffen:

Samstag, 15. Februar 2025, 14 bis 16 Uhr. Thema: Winterbräuche im Februar

企 画 委 員 会

この会は協会と会員の交流の会です。協会の事業について種々の企画をご提案いただければ、協会の活動は活発化します。ぜひとも参加し、協会の運営や企画などにご意見をください。ご出席いただける方はなるべく事前にご連絡ください。当日参加も可。

日 時 : 2025年2月8日(土)15:00~17:00

場 所 : 神戸日独協会

話 題 : 2月以降の事業企画

事 務 室 よ り

訃報

元理事の八亀徳也氏が1月20日に逝去されました。
謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。



会報ボランティア

次回の印刷と発送は2月28日(金)の予定です。お手伝いいただける方は事前にご連絡ください。

印刷 : キンコーズ三宮店(神戸市中央区雲井通4-2-2マークラー神戸ビル)10:30~

発送 : 神戸日独協会にて、12:00~

行事等の写真について

会報には誌面の都合上、写真等は掲載できませんが、ホームページ・SNSでは覧いただけます。



ホームページ
Homepage



インスタグラム
Instagram



X
Twitter

イベントスケジュール

日時	催し	会場	申込〆切
1月26日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	当日参加可
2月1日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸日独協会	当日参加可
2月8日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会	当日参加可
2月14日(金) 18:00~19:30	ドイツ時事講演会 「戦後の日独の歩みと 今後の政治課題」	神戸リガッタ倶楽部	2月12日(水)
2月15日(土) 12:00~13:30	神戸日独協会遠足 「神戸再発見」	兵庫津ミュージアム	2月12日(水)
2月15日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会	当日参加可
2月23日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会	当日参加可

各催しの申込み・お問合せは下記へ

☎️ : **078-230-8150** もしくは ✉️ : **info@jdg-kobe.org**

神戸市中央区八幡通2-1-20 神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部1F

神戸日独協会